

革新に満ちた医療への挑戦。 がんゲノム医療において 「プレジジョン検査」を無料で実施

北海道帯広市にある社会医療法人北斗北斗病院は、「革新に満ちた医療への挑戦と新たな組織価値の創造」を基本理念に掲げており、がんゲノム医療についても先進的な取り組みを行っている。2018年3月からは、同院でがん摘出手術を行った全例に「プレジジョン検査」を無料で行うという初の試みも開始した。



病理・遺伝子診断科
慶應義塾大学医学部腫瘍
センターゲノム医療ユニット
特任助教兼任

加藤 容崇

かとうやすたか／2010年北海道大学医学部卒業。13年～15年同大学医学部助教。15年～17年アメリカのハーバード大学医学部付属マサチューセッツ総合病院がんセンターに在籍。2017年に北斗病院に常勤医師として着任。18年4月から慶應義塾大学特任助教を兼任。

大学病院と同等の がんゲノム医療を推進

北斗病院では2016年に、がんの遺伝子検査を行う「がん遺伝子外来」を開設した。担当するのは慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット特任教授を兼任する西原広史医師で、18年からは同大学ゲノム医療ユニット特任助教を兼任する加藤容崇医師が加わり、体制が整った。

「慶應義塾大学病院（以下、慶應病院）は厚生労働省より『がんゲノム医療中核拠点病院』に私立病院で唯一指定されました。慶應病院は日本のゲノム医療を牽引す



る施設ですが、北斗病院は慶應病院と緊密に連携しており、同等の研究と検査を行っています。北海道帯広という地方にあり、規模も小さいですが、それだけに機動力があり、様々なチャレンジがしやすい環境にあります」と加藤医師は話す。（以下同）

「プレジジョン検査」は手術で摘出した病巣（がん組織）を検体として、がん特有の遺伝子変異がおきているかどうか約160種類の遺伝子を調べる。通常は自費診療で70～80万円かかるのだが、北斗病院では、同院でがんの外科手術を受けたすべて

の患者に無料で実施している。これは国内外で稀有な取り組みといえるだろう。「当院ではすでに2018年3月～9月までの約半年で102例を行いました。無料にした理由は2つあります。1つは先進的な医療は地域の皆さんに還元してこそ価値があるという当法人の鎌田一理事長の考えから。もう1つは検査の全ての工程を内製化し精度管理を徹底した結果、無駄が省けコストが下がったこと」

薬だけに頼らない。患者に やさしい統合医療を導入

また、同院では2018年9月から「統合医療センター（鍼灸治療センター）」を開設した。統合医療とは、薬だけに頼らない患者さんに優しい治療を組み合わせる治療法で、2018年にASCO（アメリカ臨床腫瘍学会）にて認定された先進の医療。

同院では「整動鍼」という技

HOSPITAL DATA



社会医療法人北斗 **北斗病院**
〒080-0833 北海道帯広市稲田町基線7番地5
TEL.0155-48-8000

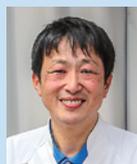
■受付時間／8:00～11:30
12:00～16:30
■休診日／土曜午後、日・祝祭日、
年末年始（12/30-1/3）



医療法人 **熊谷総合病院**
〒360-8567 埼玉県熊谷市中西4-5-1
TEL.048-521-0065

■受付時間／午前8:30～11:30
午後 診療科により異なる
■休診日／第2、第4土曜日、日・祝祭日、
年末年始（12/29-1/3）

認知症やてんかんの治療に役立つ脳の働きの測定法を開発



精密医療センター長
鳴原 良仁

しぎはらよしひと／1996年大阪市立大学理学部物理学科卒業。2005年香川大学医学部卒業。2017年6月より現職。

北斗病院はもともと脳外科に強い病院だが、現在は、がん治療はもちろん認知症やてんかん治療においても地域で重要な役割を果たす総合病院に発展している。認知症やてんかんや統合医療に関連して、脳の働きの新しい評価法を開発している。

「たとえば、認知症の場合、面接やアンケートなどで病状を測りますが、どうしても担当する医師の主観に影響されてしまいます。治療の効果を測ることも難しい。そこで、こうした病気についてより客観的な評価をしようとして、先行する海外の大学と共同で、研究を始めました」（鳴原良仁医師、以下同）

同院では脳磁図（MEG=Magnetoencephalography）という機器を使い、脳の働きを詳細に分析している。

「脳で神経活動があると電気が起き、磁場が発生します。MEGはその磁場を検出する機械。これによって、脳のどの分野の動きが低下しているか、改善しているかが分かるのです。近い将来、より幅広い疾患に応用したいと考えています」



■脳磁図(MEG)。放射線は使わず、造影剤も不要なので、容易に測定できる。

法を採用。通常の鍼治療では10～20本ほどの鍼を打つが、「整動鍼」では本当に効果があるポイントを追求し1～2本しか使わない。そのため治療時間も短く、患者はリラックスして受けられる。

「鍼は伝統的な民間療法ですが、効果が十分に科学的に証明されていません。当院では脳磁図（MEG）を用いて科学的に効果が確認できた方法を医療に用いています。統合医療もがんゲノム医療においても「すべては

患者さんのため」を合い言葉に、先進的な医療を積極的に導入して、地域の社会資源となる病院を目指していきたいと考えています」

鍼治療は原則としてがん治療をはじめとする院内の様々な治療の補助として行われ、鍼治療単独では受け付けていない。

なお、同病院を運営する社会医療法人北斗は2016年に埼玉県の熊谷総合病院をグループ傘下に加えており、同院でも同様の検査・治療が受けられる。